

維持管理、保守など

再生・保全に関する技術

建設技術フェア①

建設分野の優れた技術や製品、工法を一堂に集め紹介する「フクイ建設技術フェア2016」が去る31日、1

9の企業団体が計93

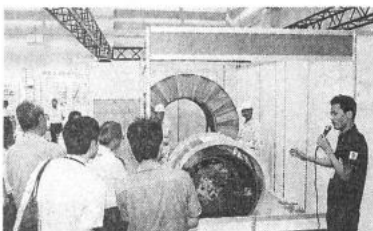
日の2日間、福井市下六条町の福井県産業会館で開かれた。



初日には西川一誠知事も会場を巡り、最新技術に触れた＝県産業会館

ブースを並べ、「再生・保全に関する技術」や「防災・減災に関する技術」など6分野に渡って最新製品などを出展。出展者は行政関係者やコンサル・建設業者に自慢の技術を積極的にPRした。各分野の出展内容を紹介する。

「再生・保全に関する技術」には21の企業・団体が出展した。日本SPR工法協会北陸支部は、既設管と相似のガイドフレームを作ることでどんな断面でも施工できる自由断面SPR工法などを紹介。パイプライン再生技術について大型設備を導入して実演、来場者の目を引いた。



日本SPR工法協会の実機デモ

長寿命化工法やネット紹介した。日光産業は、支承のもの、パネルを用いて紹介した。

日光産業は、支承のもの、パネルを用いて紹介した。



日光産業は屋外で実演交えアピール

などを展示し、屋外でウォータージェット工法などを実演。超高水圧により、コンクリート結合を破壊するこの工法は、対象構造物に与えるひずみが少なくマイクログラックをほとんど発生させない。福井県維持建設協同組合は、市民生活のライフラインとして欠かせない下水道の維持管理について、管きよ敷設や更生工、マンホールライニング、雨水枡清掃ボランティアの写

真などを展示。福井県電業協会は、太陽光発電などの電機設備の最新の保守技術を紹介。生産効率の向上をアピールし安全使用を啓発した。福井県コンクリート診断士会は「地域のコンクリート構造物の維持管理に貢献活動が、国土交通省の「グッドプラクティス（インフラを支える優れた実践事例）」に選ばれたことや、これまでの自治体や教育機関などとの協働事業等を説明し、社会的な重要性や意義を強調。福井県防水工事協同組合は、構造物劣化により、コンクリート片が落下し発生する第三者災害を未然に防ぎ、水点下環境でも施工可能なコンクリート片はく落対策工法を紹介した。(つづく)